

NEWS RELEASE

2026.09.18

“帰り道”をテーマにした新広告プロモーション
「阪急で帰ろう。」2026年9月21日(月・祝)から開始!

せいしゅんしゅ か
aiko さんの新曲「青春朱夏」とともにコンセプトムービーを展開!

- コンセプトムービー全4篇! テレビCMの放映も
- シンガーソングライター・aiko さんの楽曲「三国駅」にゆかりのある三国駅に特別広告を掲出

イラストレーター・げみさんによる描き下ろしイラストの広告を制作!

- コンセプトムービーの物語をイラスト化! 広告を駅や車内に掲出
- SNS に寄せられた“帰り道”エピソードから5作品をポスター化

阪急電鉄では、新広告プロモーション「阪急で帰ろう。」を9月21日(月・祝)から開始します。この広告プロモーションは、シンガーソングライター・aiko さんの新曲「青春朱夏」にのせて、大学生や夫婦、会社員、家族それぞれの“帰り道”を舞台に、大切な人との何気ない会話や心の距離が近づく瞬間を描いた全4篇のコンセプトムービーを公開するほか、テレビCMを放映します。さらに、aiko さんの楽曲「三国駅」の舞台となった三国駅では、aiko さんにまつわる特別広告を掲出します。

また、イラストレーター・げみさんによる描き下ろしイラストを使用した広告を展開します。コンセプトムービーの物語をテーマにイラストで表現した広告を、大阪梅田駅等で掲出するほか、当社の公式SNSで募集したお客様の“帰り道”での思い出やエピソードを描いた5作品を当社線の駅に掲出します。

大切な人との会話や、一日の余韻に浸るひととき、ほっとひと息つく時間など、これらのプロモーションを通じて、多くのお客様に“阪急での帰り道”を振り返っていただき、“帰り道”ならではの時間を、コンセプトムービーや広告を通してお届けしたいと考えています。



コンセプトムービーのキービジュアル

【シンガーソングライター・aiko さんコメント(抜粋)】

大切な人のことを想っていると時間はあっという間に過ぎていくけれど、その時に心の中に生まれる感情や思い出は、寂しかったり愛おしかったりしながらも一生残っていく気がしています。この曲はそんな甘苦い想いを曲にしました。

【イラストレーター・げみさんコメント(抜粋)】

公共交通機関という場を通じて、本当に多くの方々が行き交う日常風景の中に自分のイラストを置いていただけることに、大きな喜びと感謝を感じています。



■コンセプトムービー・「三国駅」特別広告について

1. aiko さんの新曲「青春朱夏」を起用

今回のコンセプトムービーには、aiko さんの新曲「青春朱夏」を起用しています。大阪府出身の aiko さんは、かつて一人暮らしを始めてから上京するまで、毎日のように阪急電車を利用していたと語るなど、阪急電車ともゆかりの深いアーティストです。そんな aiko さんの新曲が、日常の“帰り道”にある何気ない会話や、一日の余韻を描く本ムービーに寄り添います。

※本ムービーは、9月21日（月・祝）以降、阪急電鉄公式 YouTube チャンネル「阪急電鉄公式 c h」にて順次公開いたします。

阪急電鉄公式 YouTube チャンネル「阪急電鉄公式 c h」：<https://www.youtube.com/@hankyu-official>

テレビCM放映開始日：2026年9月21日（月・祝）から順次

テレビCM放映エリア：関西エリア

2. 三国駅と大阪梅田駅に特別広告を掲出

コンセプトムービーへの新曲の起用をきっかけに、aiko さんにまつわる特別広告を三国駅と大阪梅田駅に掲出します。2005年に発表された楽曲「三国駅」は、三国駅を舞台とした楽曲で、ご本人が学生時代によく過ごした思い出深い場所をモチーフに、当時の街並みや青春時代の記憶を重ねた一曲として知られています。また、特別広告には、aiko さん手書きの「帰ろう。」サイン（イラスト付）も描かれています。今回の掲出を通じて、aiko さんのファンのみなさまや三国駅をご利用いただくみなさまに、駅への親しみを感じていただければ幸いです。

三国駅特別広告の掲出期間：2026年9月21日（月・祝）～2026年10月11日（日）

大阪梅田駅特別広告の掲出期間：2026年9月28日（月）～2026年10月4日（日）

aikoさん、おかえりなさい。

ニューアルバム発売・ツアー披露おめでとうございます。
大阪にお帰りの際は、どうぞ阪急で。

阪急で帰ろう。

阪急電鉄CMソング「青春朱夏」収録。
aiko New Album「最後に熱い日々を狂わしき想いで」10.21 Release



aiko Live Tour "Love Like Pop vol.26"	
10/21	大阪・京セラドーム大阪
10/22	大阪・京セラドーム大阪
10/23	大阪・京セラドーム大阪
10/24	大阪・京セラドーム大阪
10/25	大阪・京セラドーム大阪
10/26	大阪・京セラドーム大阪
10/27	大阪・京セラドーム大阪
10/28	大阪・京セラドーム大阪
10/29	大阪・京セラドーム大阪
10/30	大阪・京セラドーム大阪
10/31	大阪・京セラドーム大阪

特別広告（イメージ）

3. コンセプトムービーのストーリー

“帰り道”に焦点を当てた「京都河原町駅篇」「神戸三宮駅篇」「宝塚駅篇」「大阪梅田駅篇」の全4篇です。「もう少し一緒にいたい」「ゆっくり話したい」「ほっとひと息つきたい」。そんなふとした気持ちをきっかけに、阪急電車を選ぶ登場人物たちの姿を描きました。初めて2人で出かけた大学生が帰り道でもう少し距離を縮めようとしている姿や、飲み会では話せなかった後輩の本音に先輩がそっと耳を傾ける姿、一日たっぷり遊んで疲れて眠ってしまった子どもを見守りながら夫婦でひと息つく様子、久しぶりに梅田を訪れた夫婦がゆったりとした時間を過ごす様子を表現しています。何気ない会話やふとした表情から、それぞれの関係性が垣間見えるのも見どころです。



コンセプトムービーのカットイメージ



4. aikoさん インタビューコメント

●阪急電車プロモーションに楽曲が起用されての感想を教えてください。

とても嬉しく、こんな大切な機会に私の曲を起用してくださり、感謝の気持ちでいっぱいです！本当にありがとうございます。

●「青春朱夏」の曲名や、楽曲に込められた想いを教えてください。

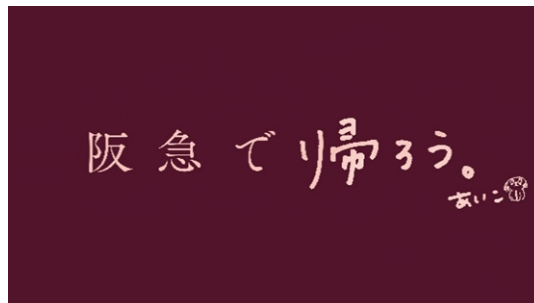
大切な人のことを想っていると時間はあっという間に過ぎていくけれど、その時に心の中に生まれる感情や思い出は、寂しかったり愛おしかったりしながらも一生残っていく気がしています。この曲はそんな甘苦い想いを曲にしました。「青春朱夏」という言葉は造語ですが、いくつになっても今を大切に1番楽しくいたいと思い、付けました。

●これまで「ホーム」、「三国駅」といった阪急電車にまつわる楽曲も作られていますが、阪急電車にはどういった思い出がありますでしょうか。

高校時代は徒歩での通学だったので、阪急電車は憧れの電車でした。車体のあずき色と座席シートのグリーンも大好きです。庄内から梅田に向かう時に渡る神崎川橋梁の数十秒の時間は、ひとりで息を止めるゲームをしたり、願い事を言ったり目標を誓ったりしていました。阪急電車には今も憧れの気持ちがずっとあります。

●今回プロモーションのコンセプトが「阪急で帰ろう。」ですが、「阪急電車で帰った時」のエピソードがあれば教えてください。

一人暮らしを始めた時、最寄りの駅が庄内だったので阪急宝塚線に乗ってバイトに行っていました。帰りはいつも最終間際で決まった時間に同じく帰宅している方達と顔見知りになったのが嬉しかったです。話した事はなかったのですが、「みんな頑張ってるんだ」と勝手に元気を貰っていました。あと、恥ずかしかった出来事もあり、CDウォークマンで曲を聴きながら帰っていた時に疲れて車内で寝てしまい寝言で歌ってしまったらしく目が覚めた時に車内にいた人たちが私を見ていて、庄内駅に着いた時に急いで降りて走って帰りました（笑）



aikoさん手書きの「帰ろう。」

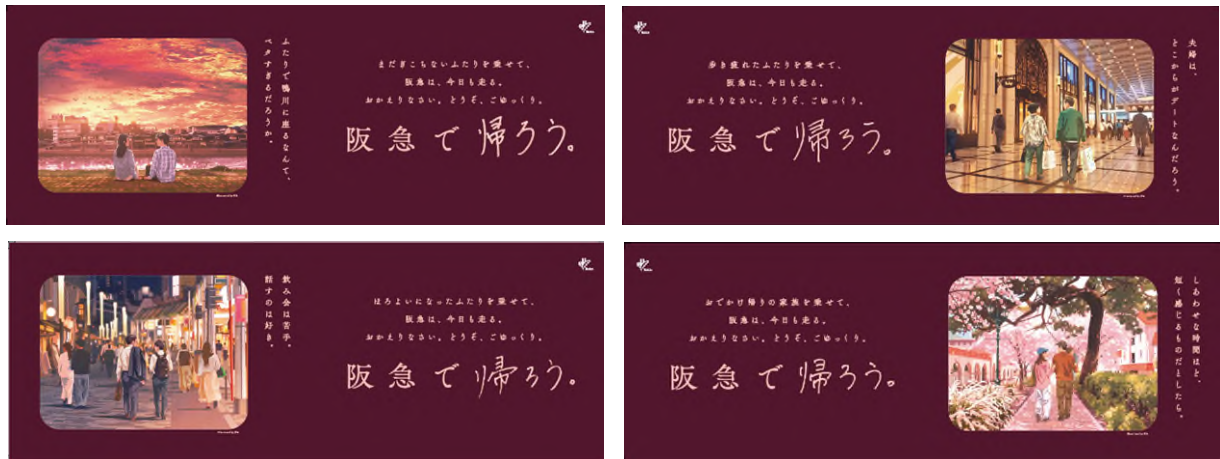
■イラストレーター・げみさんによる描き下ろしイラストの広告について

1. コンセプトムービーの物語を基にした広告

コンセプトムービーの公開に合わせ、本編で描かれる4つの物語をテーマにイラストレーター・げみさんにイラストを描き下ろしていただきました。これらのイラストを使用した広告を大阪梅田駅等に掲出します。

掲出場所：大阪梅田駅、神戸三宮駅、西宮北口駅

掲出期間：2026年9月21日（月・祝）～2026年10月11日（日）※掲出場所により異なります。



広告イメージ

2. SNSに寄せられた“帰り道”エピソードから5作品を広告に

本プロモーションに先立ち、2026年7月27日（月）から2026年8月14日（金）まで、阪急電鉄公式SNS（X）でお客様の“帰り道”での思い出やエピソードを募集したところ、317件のご応募をいただきました。今回は、その中から選ばれた5作品をイラストレーター・げみさんがイラストとして描き下ろし、阪急電鉄の各駅等に広告を掲出します。

掲出場所：阪急電車車内、阪急電鉄の各駅 など

掲出期間（予定）：2026年9月21日（月・祝）～2026年10月31日（土）



広告イメージ

3. げみさん コメント

●阪急電鉄のプロモーションにイラスト描き下ろしが起用されての感想を教えてください。
地元の友人や親に自分の絵を見てもらえることが何より嬉しいです。公共交通機関という場を通じて、本当に多くの方々の行き交う日常風景の中に自分のイラストを置いていただけることに、大きな喜びと感謝を感じています。



●関西ご出身かと思いますが、阪急電車にはどういった思い出がありますでしょうか。
学生時代、大阪へ服を買いに行く際の心強い味方でした。私の青春時代にワクワク感を与えてくれた特別な存在です。

●今回のプロモーションのコンセプトが「阪急で帰ろう。」ですが、「阪急電車で帰った時」のエピソードを教えてください。

帰りの車内でおばあちゃんに席を譲ったら、梅シロップが出る飴をもらいました。「飴なんてホンマにくれる人いるんや」という驚きと、たわいもない話をして過ごした時間が、今もホッとする帰り道の思い出です。

■阪急電鉄WEBサイト：<https://www.hankyu.co.jp/>

※「阪急で帰ろう。」特設サイトは、9月21日（月・祝）以降、上記WEBページ上に表示されるバナーよりご覧いただけます。

■アーティストプロフィール

aiko（あいこ）



1998年にメジャーデビュー。

これまでに「花火」「カブトムシ」「ボーイフレンド」「相思相愛」など数々のヒット曲を含む、47枚のシングル、16枚のフルアルバム、2枚のベストアルバム、1枚のシングルコレクションを発表。2026年10月21日には、17枚目となるフルアルバム「最後に熱い日々を狂わしき想いで」をリリース予定。さらに11月からは約1年ぶりとなるアリーナツアー「Love Like Pop vol.26」も開催予定。

げみ



イラストレーター。兵庫県三田市出身。

京都造形芸術大学 美術工芸学科日本画コース卒業。書籍の装画、企業広告を制作。大手出版社の教科書、大手飲料メーカーの商品パッケージ、トレーディングカードゲームのイラストレーションなどを担当。著書に画集『夜の際間に積もる雨』他シリーズなど。

以上

【ニュースリリース配付先】青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ、関西レジャー記者クラブ ほか